



アスンシオン通信

日付: 2024 年 9月26日 no.14

発行者: 田邊紘起

緊急事態！アスンシオンから青空がなくなる

iHola ! Buenos días、Que tal?

日本では台風や大雨による災害のせいで安心して生活できない日々が続いていますね。地球の裏側から皆さんの無事を祈っています。

実はパラグアイでも9月に大規模な山火事が発生しました。南米では毎年この時期に山火事が多く起こるそうですが、今年は特に被害が大きかったようです。パラグアイ北部で発生した山火事はアスンシオン

の16倍の広さ、三次市と庄原市を合わせたくらいの面積を焼きました。それによって、火事の煙がアスンシオンの街を包みこみ、晴れているのに曇っているようでした。目がしめたり、喉が痛くなったりするため、マスクをつけたり外遊びを控えたりするよう学校からお知らせが出るほどでした。9月13日に雨が降り、14日には久々に太陽のすがたをはっきり見ることができました。久しぶりの明るい太陽は嬉しかったのですが、日差しが強く、とても暑いことを忘れていました。その後、山火事は鎮火され、今は落ち着いています。



【煙に包まれた真っ赤な太陽(9月11日)】



【雨が降った翌日のアスンシオン(9月14日)=三育学院前】

ブラジル・アルゼンチンにまたがる世界遺産

広島には世界遺産が2つありますね。「原爆ドーム」と「厳島神社」です。行ったことがありますか？ 私が今住んでいるアスンシオンから車で4、5時間走ったところにも世界遺産があります。それは、「イグアスの滝」というパラグアイとブラジル、アルゼンチン三国の国境付近にある大きな滝です。この滝は北アメリカ大陸の「ナイアガラの滝」、アフリカ大陸の「ビクトリアの滝」とならんで世界的に有名で、流れる水の量は世界一です。

今回は、アルゼンチン側から見た様子をお伝えします。アルゼンチンに入るためには、橋を渡って一度ブラジルに入国し、またすぐに別の橋を渡ると到着です。島国の日本ではイメージしにくいですね。

イグアスの滝は「イグアス国立公園」の中にあります。公園内には「野生動物に注意！」の看板がたくさんありました。





【道路脇にある看板＝イグアス国立公園】

上はハナグマ、バク、ジャガーの注意看板です。野生のジャガーがでてくるなんて、ちょっと怖いですね。

私たちが到着したらすぐにハナグマが出迎えてくれました。かわいらしいのですが、野生なので手を近づけたりはできません。イグアスの滝にたどり着くためには、トロツコに乗ったり、川にかかる遊歩道を歩いたりして向かいます。



【人がいてもおかまいなしのハナグマ】



【足元がスキースケの遊歩道＝イグアス国立公園】

滝に行く途中でカラフルなチョウに出会いました。手を出すと指先にとまります。ルリサンジャクというかわいらしい模様の鳥にも出会いました。人を恐れないので逃げることはありません。



【カラフルなチョウとルリサンジャク＝イグアス国立公園】

いよいよ、「**悪魔(あくま)の喉笛(のどぶえ)**」と呼ばれる滝つぼを横から見る事ができるスポットに着きました。爆音と水しぶきですごい迫力でしたが、高いところが苦手な私は生きた心地がしませんでした。



【「悪魔の喉笛」をのぞきこむが見えない＝イグアス国立公園】

アルゼンチン側から見る滝は、すぐ足元からたくさんの水が滝つぼに落ちていく様子が見られました。ブラジル側から見る滝はどんな様子だと思いますか。同じ滝でも見る場所によって全く感じが変わります。そちらの写真も撮ったので、次回紹介しますね。楽しみに。

絃起先生のクイズコーナー

Q.パラグアイでもパンは売っていますが、残念ながら日本でよく見る菓子パンや惣菜パンのようなものはありません。帰国したら日本のパンを思う存分食べたいと思っています。そこで問題です。「パン」はスペイン語で何というでしょう。

1.ブレッド

2.パン

3.ポリョ

答えは次回お知らせします。では、Chao chao!nos vemos!

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

perdón (ペルドン) :ごめんね

わざとでなくても人にいやな思いをさせてしまうことってありますよね。そんなときはperdón (ペルドン) といって、すぐに謝ります。相手は「気に

しなくていいよ。」とニコッと微笑んでくれます。どうやら海外の人は「日本人はよくあやまる人たち」と思っているようです。

アスンシオンにも「フォローして助け合おう!」「困った時はお互いさま!」という文化があると感じています。

次回について

次回は、南米の世界遺産第2弾（迫力満点のブラジル側）についてお伝えします。